

2025年1月

## 地域連携プログラム（Local Partnership Program, LPP）実施要項

### 1. 趣旨

地域連携プログラム（LPP）は、和歌山大学観光学部に在籍する学生が、地域の方々と連携・協働により、地域の課題解決に向けた活動や、調査等に取り組むことを通じて、観光振興や地域再生の実践方法について現場で学ぶことを目的とした観光学部独自のプログラムです。

観光学部教員と受入地域が連携して活動計画を作成し、学生を募集して活動を実践する「連携教育LPP（Lゼミ）」\*と、学生が主体となり、地域と連携しながら活動を実践する「学生主導LPP（L活）」の2種類があります。

\* 連携教育LPP（Lゼミ）には、地域から活動内容を公募する「地域公募タイプ」と、観光学部教員が地域での研究活動等の一部をプログラム化する「教員申請タイプ」がありますが、ここでは「地域公募タイプ」について説明します。

### 2. プログラムの仕組み

地方公共団体等、地域側から申し込みをいただくことからスタートします。実施プロセスの詳細については後述の内容（2頁以降）をご確認ください。

### 3. プログラムの実施要件

LPPのプログラムでは、観光学部の教育カリキュラムの一環として、地域住民と連携した現場での学びを通し、地域の観光振興および地域再生の実践を学ぶことのできる内容を含むことを要件とします。

### 4. 実施期間

活動は学生の授業に支障のない時間での実施とします。実施時期としては、大学の夏季休暇中（8月下旬～9月末）が最もまとまって時間をとることができます。これらを考慮の上、プログラムの提案をお願いいたします。

### 5. プログラム種別の実施プロセス

## Lゼミ（連携教育 LPP）—地域公募タイプ

### 概要

観光学部の教育カリキュラムの一環として、学生が観光振興や地域再生の現場を体験しながら、地域について学ぶことのできるプログラムを計画し、地域の関係者（行政、地域活動団体等）との連携・協働により活動を実践するものです。

### 実施プロセス

地域（地方公共団体等）から活動内容を公募し、担当希望教員の承諾が得られた場合、担当教員が地域の受入担当者と連携して年間の活動計画書を作成します。それに基づき、参加する学生の募集を行います。学生の応募があり、実施が可能であると判断されたプログラムを当該年度に実施するプログラムとして認定します。（末尾「実施フロー図」を参照）

### 留意事項

- ・学生の応募が定員に大幅に満たない場合や予算が確保できない場合には、実施に至らないことがあります。
- ・プログラム運営の都合上、同一地域からの複数のプログラムの申し込みはお受けできない場合があります。
- ・受講している講義時間中（集中講義を含む）の活動は原則認めていません。

※オンデマンド型の講義の場合は、担当教員と相談のうえ判断していただくこととなります。

### 活動期間

Lゼミのプログラムは2年間です。

年度ごとに活動計画書の作成、学生募集、活動報告を行います。

### 教員の役割

各プログラム1名以上の担当教員を配置し、年度ごとの活動計画書の作成、地域との調整および学生の監督・活動支援等を行います。

### 単位認定

参加学生には活動時間に対して単位認定が行われます（「実施時間」の項を参照）。

### 実施時間

実施時間については、プログラムの内容によって柔軟に対応が可能です。

学生には、プログラムの活動時間に対して単位を認定しますので、プログラム参加のための事前事後学習の時間等を含め、トータルで30時間以上を確保する必要があります。事前事後学習については学内での実施も可能であり、事前事後学習と現地での諸活動との時間配分については、プログラム担当教員と地域との協議において確定することになります。

Lゼミは、学生との連携による活動経験のない地域向けの“スタートアップ型プログラム”としても位置づけています。

## L 活（学生主導 LPP）

### 概要

観光学部の学生が主体となって、地域の関係者との連携・協働により、観光振興や地域再生に関する活動を実践するものです。

### 実施プロセス

地域（地方公共団体等）から学生と取り組みたい活動内容について申し込みいただき、参加する学生の募集を行います。学生の応募があり、実施が可能であると判断された場合は、学生と地域の受入担当者と連携して年間の活動計画書を作成してください。それに基づき、当該年度実施するプログラムとして認定します。（末尾「実施フロー」を参照）

### 留意事項

- ・学生の応募が定員に大幅に満たない場合や予算が確保できない場合には、実施に至らないことがあります。
- ・受講している講義時間中（集中講義を含む）の活動は原則認めていません。

※オンデマンド型の講義の場合は、担当教員と相談のうえ判断していただくこととなります。

### 活動期間

活動期間の制限はありません。

内容に即した期間の設定が可能ですが、年度ごとに活動計画書の作成・学生募集・活動報告を行います。

### 教員の役割

学生主体のプログラムと位置付けていることから、顧問（相談役）として教員を配置し、活動計画書や活動報告書などの確認・提出、活動支援等を行います。

### 単位認定

参加学生への単位認定はありません。

### 実施時間

単位認定がないため、実施時間の設定はありません。

活動実施期間（2年間）が終了したLゼミから移行し、意欲を持った学生が主体性を発揮して活動する“グローアップ型プログラム”としても位置づけています。

## 6. プログラムの費用負担について

プログラムの実施には、学生の交通費および現地での活動に係る諸経費が発生します。プログラムをご提案いただく際に、こうした費用負担が可能であるかをご検討ください。なお、同行する教員の交通費・宿泊費・謝金等をご負担いただく必要はありません。

予算捻出に困難を伴う場合には、観光学部より予算措置を行うことができます。プログラムに対する学生の応募状況を鑑み、予算配分を行います。学部予算には限りがありますので、地域で費用をご負担いただいた方がプログラム実施の可能性は高くなります。

※学部予算は、「地域連携プログラム（LPP）活動経費補助の基準」に基づき、学生の交通費や宿泊費、学生の活動に関わって発生する諸経費の一部補助となる点ご了承下さい。学部の予算措置が必要な場合は、申込書または活動計画書の「学生に負担を求める費用（概算）」の欄に、予定費目と金額（概算）を必ず記入してください。

## 7. 提案方法

応募するプログラム種別が決まりましたら、下記の方法で「10. LPPに関する問合せ先および各種書類提出先」宛にメールにて各書類をご提出ください。

なお、2025年度のプログラムについて、申込書の作成やプログラムの内容に関して担当希望教員との事前面談を実施することが可能です。ご希望の場合は日程調整を行いますので、**2月14日（金）**までにお問合せください。

各書類の様式は電子データ（Word形式）もご用意しております。ご希望の場合は下記問合せ先にご連絡ください。

### 【Lゼミ新規（2025年度新規プログラム）】

2025年度の新規プログラム提案をお考えの場合は「LPP申込書（以下、申込書）」に必要事項を記入のうえ、ご提出ください。担当希望教員の承諾が得られた場合、プログラム実施に向けた活動計画書の作成、参加学生募集となります。申込書の記載内容が不十分な場合や担当希望教員の承諾が得られなかった場合は、プログラムの実施を見送らせていただく場合がございますのでご了承ください。受付締切日は**2月28日（金）**です。

### 【Lゼミ継続（2024年度から継続しているプログラム）】

2024年度から活動しており、終了年度が2025年度であるLゼミの継続プログラムについては、「Lゼミ活動計画書」を**4月9日（水）**までにご提出ください。なお、計画書は担当教員と協議したうえで担当教員から提出してください。

### 【L活継続（L活実施2年目のプログラム）】

2025年度のプログラム提案をお考えの場合は、学生と協働で「L活活動計画書」を作成し、学生からご提出ください。活動計画書の提出締切日は**4月9日（水）**です。計画書を受理し、追加で学生の募集を実施した後、5月下旬ごろから活動を開始する予定です。

### 【L活新規（2025年度新規プログラム）】

L活のプログラムは、Lゼミとして実施期間2年を終了した後、L活へ移行して活動を継続することを推奨しています。Lゼミでの活動経験がなく、L活でプログラムを新たに申請する場合は一度ご相談ください。

### 8. 実施にかかるスケジュール

※末尾の「実施フロー図」も併せて参照ください。

2025年度スケジュール		Lゼミ		L活	
		新規	継続	継続	新規
2025年 2月14日(金)	事前面談の受付締切	○	—	—	○
2月28日(金)	LPP申込書の提出締切	○	—	—	—
3月上旬	担当希望教員の受入可否結果案内 ※ご希望に添えなかった場合は、他の教員をご検討いただく等、調整させていただきますが、申し込みを見送っていただく場合があります。	○	—	—	—
4月9日(木)	活動計画書／申込書（L活2024年度新規）の提出締切	○			
	翌週より参加学生の学内募集開始	○			
5月下旬～ 2026年1月末	実施プログラムの決定と採択可否通知 →順次プログラム実施	○	○	—	○
	活動計画書の作成と提出 →順次プログラム実施	—	—	—	○
1月末	学生が年度活動報告書を作成、提出	—	—	○	○
	LPP合同活動報告会の実施（予定）	○			
3月末	2024年度プログラムの終了	○			

### 9. 2025年度希望可能教員リスト

遠藤理一	大浦 由美	木川 剛志
北村 元成	Zainal-Abidin, Husna	佐野 楓
竹林 明	Chakraborty, Abhik	Doering, Adam
堀田 祐三子	吉田 道代	

※各教員の専門分野、教育・研究活動については、観光学部HPの「観光学部教員一覧（[https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/teacher\\_tourism/post301.html](https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/teacher_tourism/post301.html)）」を参照ください。

**10. LPP に関する問合せ先および各種書類提出先**

和歌山大学観光学部 観光実践教育サポートオフィス LPP 担当

電話／073-457-8553

Email tourism-er@ml.wakayama-u.ac.jp

※メールでのお問合せ、書類提出時には件名に「LPP」と明記ください。

**11. これまでの地域連携プログラムの事例**

和歌山大学観光学部 HP にて掲載をしておりますので、下記 URL よりご確認ください。

「和歌山大学観光学部 地域連携プログラム

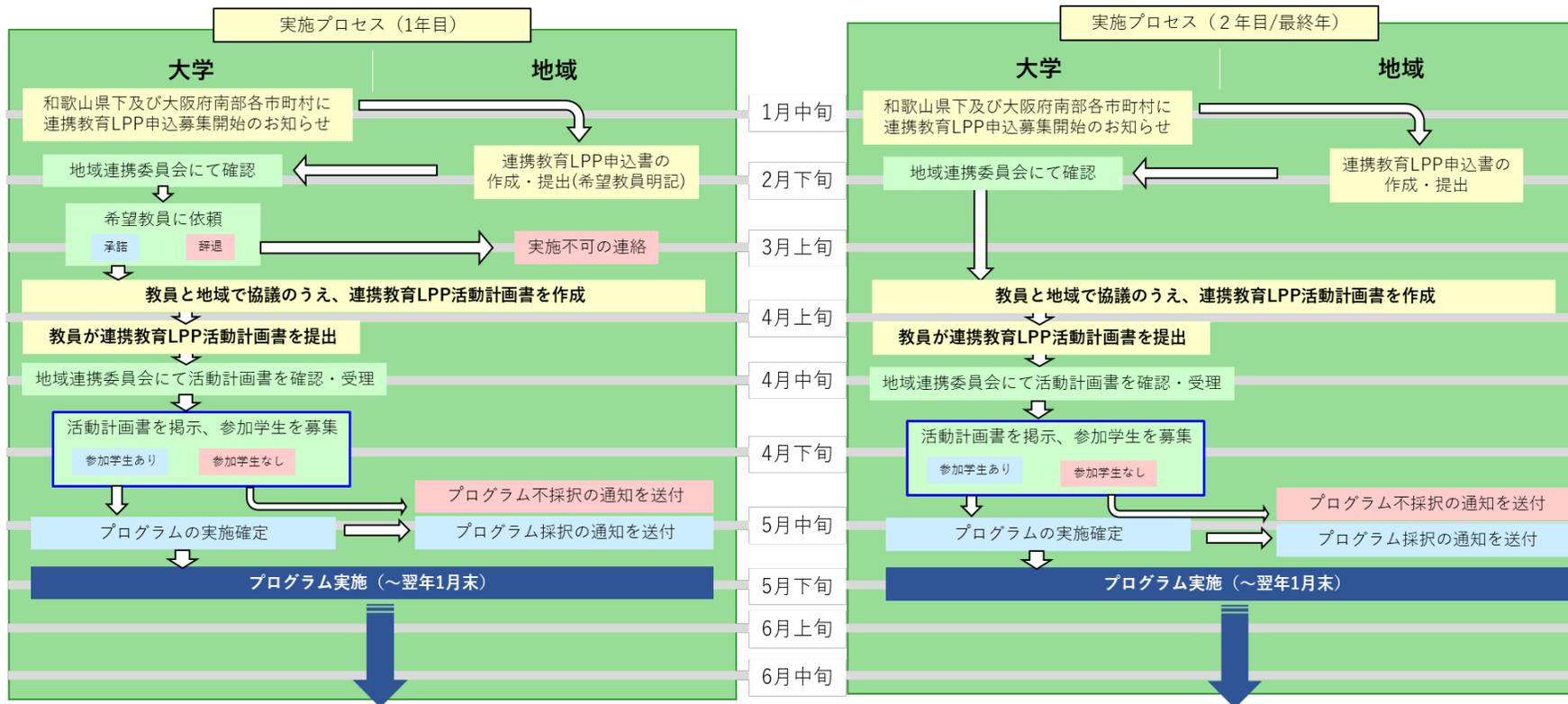
([https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/local\\_study/lpp.html](https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/local_study/lpp.html))」

■ LPP 実施フロー図

連携教育LPP【通称「Lゼミ」】：① 地域公募タイプ（旧公募タイプLIP）

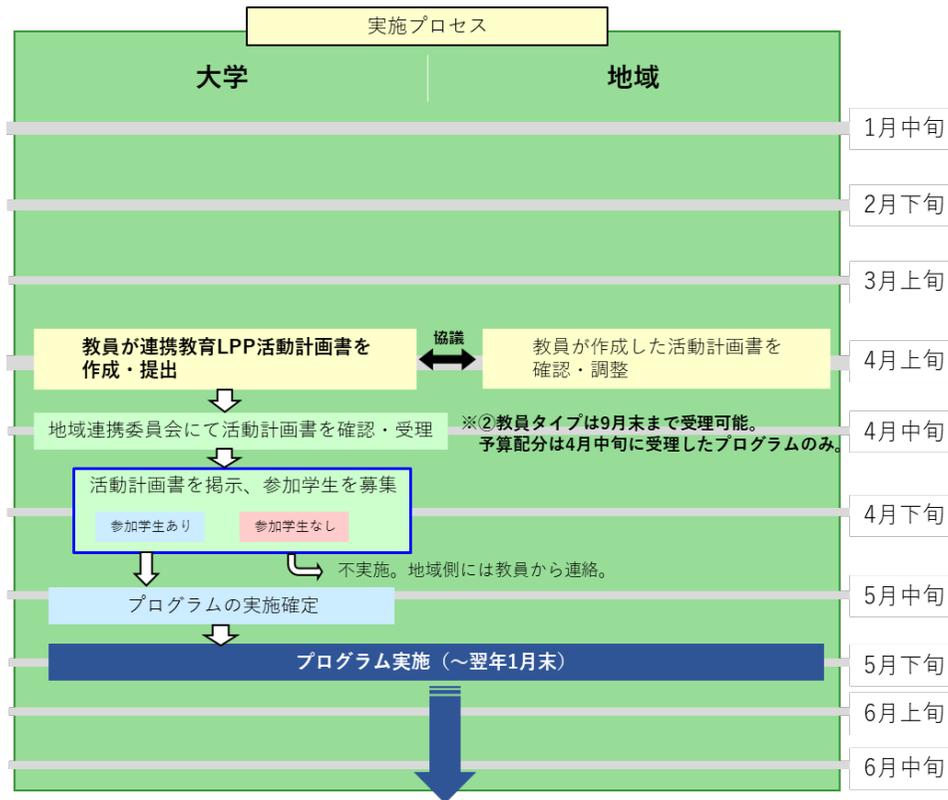
- 1月中旬～2月下旬に申込書（新様式）の受付を行い、希望教員に依頼。  
⇒ **地域が希望する担当教員とのプログラム実施が可能。**  
※一部教員への集中を避けるため、**連携教育LPP（地域公募タイプ）は1プログラムに制限。**募集開始の案内と共にあらかじめ、希望可能教員リストを添付。
- 教員が承諾したプログラムのみ、教員が地域と協議し、活動計画書を作成。**  
⇒教員が活動計画書を作成することで、教育プログラムとしての質的向上が見込める。  
学部教員が担える範囲での持続的運営が可能。

プログラム終了後、次年度以降、現行のプログラムを学生主導LPP（L活）として継続する、または、連携教育LPP（地域公募タイプ）として新たなテーマをご提案いただくことが可能です。



**連携教育LPP【通称「Lゼミ」】：②教員申請タイプ（旧申請タイプLIP）**

- ・教員が地域との協議・確認を経て活動計画書を作成し、地域連携委員会に提出。  
 ※9月下旬まで申請可。4月中旬に受理された活動計画書については、4月下旬に提示し、参加学生を募集。  
 ⇒教員が自身の研究フィールド・テーマに応じて活動計画書を作成するため、教員の専門分野を生かしたプログラム運営が可能。



**学生主導LPP【通称「L活」】**

- ・4月上旬に申込書の受付を行い、地域連携委員会で確認。
  - ・4月上旬に申込書を提示し、参加学生を募集。一定の学生が集まったプログラムを実施。
  - ・実施決定後、**参加学生が地域と協議し、活動計画書を作成**
    - ⇒学生が地域と連携して活動計画を作成することで、学生の主体的な活動プログラムとしての質的向上が見込める。
    - ⇒地域側にとっても、学生との協働活動として持続的に展開することが可能。
- ※期間終了後の連携教育LPPを学生主導LPPに移行することも想定。

